大村神楽【おおむらかぐら】

開催場所	豊前市大字四郎丸 256 大富神社
開催日	12 月 31 日～1 月 1 日・10 月 19 日
指定	福岡県指定無形民俗文化財

【芸能の概要】

湯立神楽があるのが特徴的。他の湯立てと違い、釜の前での神事だけではなく、地域がら、修験道の影響が残り、高さ 10m の湯鉾(ゆぼこ)に昇り、その上から御幣を投げる。その駈仙(みさき)は高所における「逆さぶら下がり」や、ロープをまたいでの「両手離し滑走降下」の曲芸を行う。

【芸能の特徴】

湯立神楽は豊前神楽最大の神楽である。神社の広場に設けられた斎湯（ゆにわ）の中央に湯鉾（ゆほこ）とよばれる柱がたてられ、湯釜が設営されている。駈仙（みさき・猿田彦）は湯鉾・湯立釜をたて広場を駆け回り、高さ約 10m の湯鉾に登り御幣を投げる。その後、駈仙は湯鉾の上で逆さになるなどし、湯鉾を支える綱をつたわって降りてくる。

【使用する祭具・道具など】

楽器は、笛、太鼓、銅拍子が用いられる。囃子方は三名で構成され、神楽講の方で分担される。
道具には、駈仙がのぼる湯鉾、清祓いに用いるための湯をたてる湯釜がある。

・周辺の観光

国玉神社（中宮）及び修験道の遺跡、宝福寺山つつじ公園（よどがわ、きりしまをはじめ数千本のつつじが咲き誇る名所。4 月下旬から 5 月上旬にかけてのつつじ祭は毎年多くの見物客でにぎわう）、求菩提キャンプ場（求菩提山ふもとに広がる自然公園。県下最大規模のキャンプ場やアウトドアスポーツの場としての利用者は多い）、豊前温泉「天狗の湯」（大浴場、露天風呂、サウナ有り、弱アルカリ性の単純温泉）
求菩提山松会(お田植え祭、春を告げる祭として、豊作祈願のため古くから修験道によって伝えられる(県文化財指定))つつじ祭（毎年四月下旬から五月上旬にかけて宝福寺山つつじ公園で行なわれる）
京築神楽の里フェスティバル（県内外から神楽を招待する）

・近くの特産品

豊前茶（求菩提山に広がる茶畑）、卵（全国最大規模のエッグファームがある）、みかん（瀬戸内海の温暖な気候が育むみかん）、ゆず（料理に使ってよし、お風呂に浮かべてよし）、漬け物（豊前の自然が生かされた逸品が揃っている）、海産物（海苔、ガザミ、車エビ、コタイ、カレイ、キス等）、民芸品（銀杏こけし、天狗の魔除け）